

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月
結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 22名回答、回答率 68%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・活動の内容に合わせてパーテーションなどで区切るようにしている。
- ・角クッションなどを使用し、できる限り危険のないように配慮をしている。

○業務改善

- ・都度声を掛け合い、業務の進捗状況について共有をしている。
- ・週、月ごとに担当を決めることで分担を行っている。

○適切な支援の提供

- ・予定表で月の予定を提示し、5領域に沿った支援を実施している。
- ・保育園、幼稚園を意識した環境設定をしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・園訪問を実施することで、連携と情報共有ができるようにしている。
- ・交流はあるが、活動は実施していない。

○保護者への説明責任等

- ・フィードバックの時間では内容と目的を決められた時間に話し、個別で相談がある場合には適宜応じている。

○非常時等の対応

- ・子どもとの避難訓練だけでなく、職員向けの訓練も実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・環境スペースは、十分に確保されているという意見を多くいただきました。

○適切な支援の提供

・子どものことを理解し、ニーズに合わせて個別支援計画が作成され、計画に沿って支援が実施されているというご意見を多くいただきました。

・最後のプログラム(関わりの時間)が、ソフトつみき、紐通しが多く他の活動も実施してほしいというご意見もいただきました。

○保護者への説明等

・事業所職員から共感的に支援、運営規定、支援プログラム等についての丁寧な説明、支援内容の説明については、100%ご満足いただけているというご意見をいただきました。

・個人情報取り扱いや、HP、SNSの発信については、今後教室から発信し周知できるよう努めていく。

○非常時等の対応

・安全確保を十分に行い、定期的に避難訓練等の訓練が実施されているというご意見を多くいただきました。

・災害、事故発生時、感染症対応マニュアル等の計画については、今後周知ができるよう発信していく。

○満足度

・子どもが安心感をもって通所できているか、事業所の支援への満足感については、100%ご満足というご意見をいただきました。

・姉妹が自分も行きたいとごねるくらい、毎回楽しく通わせていただいていますというご意見をいただきました。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・スペースの使い方を工夫し、広々と有効的に使用できるようにする。

・保護者会や保護者参加型の特別開室日を作る。

○改善できた点・まだ残る課題

・スペースに関しては、活動や子どもの動きを見て事故防止の為に机やパーテーションの設置場所を適宜変えて広々と使えるよう工夫をした。

・保護者参加については、年度後半で実施をした。

・靴箱やロッカーの位置については、今後も検討が必要。スペース的にも限られてしまうが、子どもにわかりやすく、構造化を意識し尚且つ安全な配置ができるようにしたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・支援やプログラムについて、丁寧に説明をすることができており、満足感に繋げることができた。
- ・日々の支援、プログラムだけでなく、家庭や園での様子についても話をする機会を多く設けることができていた。
- ・子どもと、特性を理解し、ニーズに合わせた支援計画の作成と支援を実施することができた。

○改善点

- ・「関わりの時間」のプログラム内容については、年齢や発達のレベル感をみて、固定化することなく活動が実施できるよう今後もプログラム設定をおこなっていく必要がある。
- ・周知はおこなっているものの個人情報の取り扱いや、災害・事故発生・感染症のマニュアルについての周知が十分ではない。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・集団生活に活かし、関わりを深められる「関わりの時間」の課題設定の工夫。
- ・個人情報の取り扱い、各種マニュアルや避難経路の周知を深める。
- ・保育園、幼稚園、その他関係機関との連携を深める。

○1年間で取り組む具体策

- ・関わりの時間の活動は内容の記録を残しているため、振り返りながら実施ができるようにする。また、関わりの時間ではより集団生活での過ごし方に近づけられるように、子ども達が選択をして過ごせる時間も設定している。そういった部分をフィードバックで説明ができるようにしていく。
- ・個人情報の取り扱いについては、契約時に説明をしている内容を、年度始めなどに再度手紙配布という形で周知ができるようにする。また、避難経路についても同様に書面にて提示をしているが、避難訓練実施時に再度お渡しするなど周知ができるように工夫をしていく。
- ・保育園、幼稚園は園訪問を継続して実施し、引き続き連携を取っていく。保護者に対しても、訪問や連携が取れることを周知する。他事業所については、個別支援計画の共有を行うとともに、電話や訪問等で連携を取れるようにする。

スマートキッズ